

平成29年度 第1回 区協議会会長会議 出席者名簿

協議会名	役 職	氏 名
座長 中区協議会	会 長	畑 すみ子
東区協議会	会 長	杉本 恒雄
西区協議会	会 長	安間 清弘
南区協議会	会 長	持塚 幹晴
北区協議会	会 長	佐藤 吉弥
浜北区協議会	会 長	川上 正芳
天竜区協議会	会 長	鈴木 誠

所 属	役 職	氏 名
市民部	部 長	山下 昭一
浜北区	区 長	松永 直志

【随 行】

協議会名	役 職	氏 名
中 区	区振興課長	小野 哲司
東 区	区振興課長補佐	袴田 和弘
西 区	区振興課長補佐	鈴木 克尚
南 区	区振興課長補佐	山本 久之
北 区	副区長（区振興課長）	岩本 篤
浜北区	副区長（区振興課長）	藤本 正明
天竜区	区振興課長	東畑 昌利

【事 務 局】

所 属	役 職	氏 名
市民部 市民協働・地域政策課	課長	岡安 章宏
	専門監（課長補佐）	北嶋 秀明
	副主幹	松下 恵介
	主 任	増田 一秀
		飯田 智也

意見交換票

テーマ①

「平成 29 年度区協議会委員全体研修会について」

平成 29 年度 第 1 回区協議会会長会議 意見交換票

<p>テーマ</p>	<p>平成 29 年度区協議会全体研修会について</p>
<p>区</p>	<p>中区</p>
<p>内 容</p>	<p>1 財政課による「浜松市の財政について」の説明は、重たい内容だけに資料提示に工夫がほしかった。昨年度のように視覚に訴えた提示がなく、その上やや網羅的な内容に終始した気がした。</p> <p>2 ワークショップは①から②へとよく考えられた関連性のあるテーマで、興味深く参加することができた。 時間的なこともあったが、考えや思いについてグループ内で討議する場がほしかった。</p> <p>3 ファシリテーターを務めた市の職員の物腰や語り口調が柔らかく、委員同士が初対面ではあったがお蔭様で話し合いがスムーズにできた。</p> <p>4 地域力向上事業の「市民提案による住みよい地域づくり助成事業」で助成を受けた団体の実践報告などの機会を設けるなど、協議会委員が事業実施団体の生の声を聞く機会があってもいいのではないか。</p>

平成 29 年度 第 1 回区協議会会長会議 意見交換票

テーマ	平成 29 年度区協議会全体研修会について
区	東区
内容	<p><全体的な感想></p> <ul style="list-style-type: none">・ワークショップの形式ということで、人によっては戸惑いがあり、時間が限られていることもあって、雰囲気慣れてくる前に終わってしまったという方もいるのではないかと。・財政についての話は、初めて聞く方にはわかりにくいのではという印象。・他の区について考えることにより、自分の区について、あらためて見直すこともできるなど、とても有意義であったと思う。・他の区の協議会委員の意見を聞くことができ、交流の場となるところも良いと思う。 <p><次回以降のテーマについて></p> <ul style="list-style-type: none">・区の再編について

平成 29 年度 第 1 回区協議会会長会議 意見交換票

テーマ	平成 29 年度区協議会全体研修会について
区	西区
内容	<p>講義だけでなく、委員参加型のワークショップを取り入れたことは、研修会の構成としては良かったと思います。他区の情報や委員の意見交換が行えて有意義な研修でした。</p> <p>グループが近かったこともあり、他のグループの声が直接聞こえて、グループ討議の支障が出ました。また、もう少し時間の余裕がほしかったと感じました。ワークショップのテーマは1つでも良いかと思います。</p> <p>来年度以降の研修の内容については、他市町村で地域コミュニティの活動を活発に行っている団体からお話を聞くのも良いかと思います。</p>

平成 29 年度 第 1 回区協議会会長会議 意見交換票

テーマ	平成 29 年度区協議会全体研修会について
区	南区
内 容	<p>協議会委員数名に意見を聞いた結果、以下の意見が出された。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;"> <p>協議会委員からの意見</p> </div> <p>①全体研修会を振り返っての感想、意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 区によって協議会の雰囲気の違い、他区の委員の考えに触れ、刺激を受けた。また、新鮮な気持ちで協議会に取り組んでいこうと思った。 ・ 最初の市全体の予算の説明については、昔、旧市町村の議員等が協議会委員を務めていた時代には良かったのかもしれないが、現在の協議会の議論とはほど遠く、研修で行う内容としてはもったいない気がする。予算に関しては資料配布程度で良いのではないか。 ・ 副市長の挨拶は内容が充実していたので、次に説明した方も数字の読み上げではなく、今後の展望が分かるような話を時間をかけて説明してもらえれば、より良い研修になると思われる。 <p>②来年度以降の内容等の希望、意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4、5月頃に開催すれば、新委員が協議会とはどういうものであるかを学ぶ機会となってよいと思われる。 ・ 他の市の区協議会がどのような取り組みを行っているか、情報があれば知りたい。 <hr style="border-top: 1px dashed black; margin: 20px 0;"/> <p>市全体の委員研修会は、他の区の協議会の有効な情報を知ることや委員自身の役割を見直すことができるため、年に1回程度開催することは有効だと考える。</p>

平成 29 年度 第 1 回区協議会会長会議 意見交換票

テーマ	平成 29 年度区協議会全体研修会について
区	北 区
内 容	<p>1 本年度の全体研修会について</p> <p>平成 29 年 7 月開催の区協議会全体研修会に出席した、北区協議会委員の感想・意見は、おしなべて好評であった。</p> <p>特にワークショップに対する評価が高く、普段関わりがない他区の協議会委員との意見交換ができ新鮮で、北区の特性について再認識する機会にもなったとの意見を得ている。</p> <p>2 来年度の全体研修会について</p> <p>旧浜松市と旧引佐郡の 6 地区で構成している北区は、時に我田引水的な発言に片寄る場合がある。次回の全体研修会は改選を経ての開催となるため、特に区協議会の役割や委員としての立ち位置等、共通して委員が理解しておくべき事柄を習得するためのプログラムを希望する。</p> <p>また、今回行ったワークショップは、他区の委員との交流を深めたり、自区の強みや弱みを再認識したりできることから評価が高かったため、同様のプログラムも希望する。</p>

平成 29 年度 第 1 回区協議会会長会議 意見交換票

テーマ	平成 29 年度区協議会全体研修会について
区	浜北区
内容	<ul style="list-style-type: none">・区協議会では、様々な課が所管する事業について意見を求められるため、今回のように市の財政について学ぶ事は議論を深めるのに役立つと思う。今後も施政方針や総合計画、また国の制度との関連や他の関連施策について学ぶ機会があると良い。・区の再編の検討がされている中、隣接区の課題も把握する必要性を感じているため、他区の委員との交流や意見交換は役立つと考える。・財政についての報告とワークショップ 2 テーマは、時間の余裕がなかった。テーマをもう少し絞り込んだ方がよかったのではないか。・新たな課題の発掘に取り組むためには、机上の研修だけでなく、実際に現地視察を行って議論する事も必要であると考えます。

平成 29 年度 第 1 回区協議会会長会議 意見交換票

テーマ	平成 29 年度区協議会全体研修会について
区	天竜区協議会
内容	<p>本年度開催の委員研修会については、全体的には有意義な研修であったと思います。特にワークショップについては、一方的に聞く講義と違い、自らが発言する機会が得られたことで活発な情報意見交換ができました。</p> <p>テーマも身近な「自分たちが住む区の紹介」「自分たちにできること」の 2 点であったこと、ワークショップの資料が事前に郵送されていたこと、進行した市職員の手際が良く全員が発言できたことなど、ワークショップの手法が大変良かったと思います。</p> <p>こうした全体研修会は、今後も続けていただき協議会委員としての自覚と研修の場として、区協議会の役割機能向上に役立てることが大切であると思います。今後も、今回のようなワークショップ形式で多くの意見発表ができる工夫をお願いします。</p> <p>区協議会では、行政側からの報告協議事項が議事を中心となっていますので、少しでも地域が抱えている将来の生活不安を解消して、いつまでも安全で安心して暮らしていけるよう、地域課題解決に向けて委員同士の議論を深め、少しでも地域住民の声を市政に反映させる努力が必要と思われれます。</p>

「平成 29 年度 区協議会委員研修会」アンケート結果

- 目的 「市民協働活動の要」と位置付けている区協議会（附属機関）の円滑な運営に向けて、区協議会の概要や市民協働の考え方に加え、浜松市の将来像や財政など市政の基本概要に関する研修会を開催した。

- 実施日 平成 29 年 7 月 5 日（水）

- 対象者 区協議会委員

- 回答数 75（回収率 87.2%）

協議会名	委員数	参加者	参加率	回答数
中区協議会	20	12	60%	8
東区協議会	20	14	70%	11
西区協議会	25	14	56%	13
南区協議会	20	12	60%	10
北区協議会	25	14	56%	14
浜北区協議会	20	10	50%	9
天竜区協議会	25	10	40%	8
区名無記入	-	-	-	2
計	155	86	55%	75

- 評価点数 5段階評価（参考になった 5～参考にならなかった 1）の平均値。
無回答は集計対象外。

■回答者属性

①性別

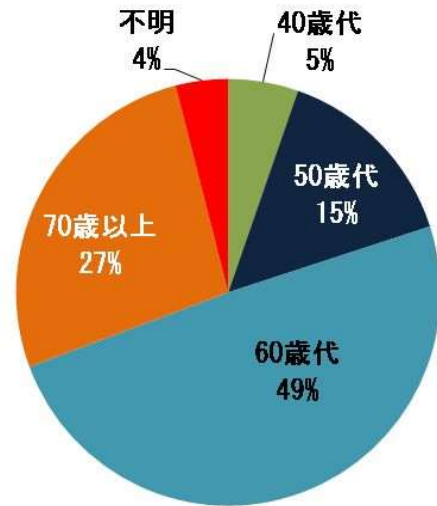
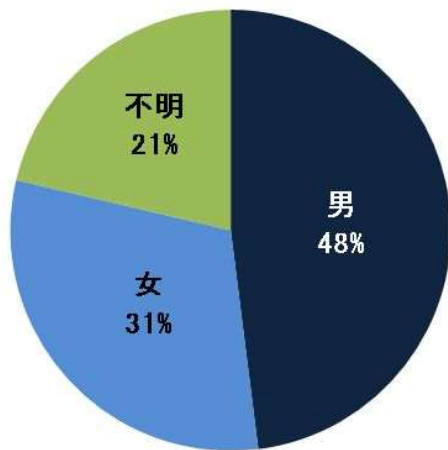
（単位：人）

	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区	不明	全区	比率
男	5	3	8	5	5	4	6	0	36	48%
女	3	3	4	5	4	2	1	1	23	31%
不明	0	5	1	0	5	3	1	1	16	21%
計	8	11	13	10	14	9	8	2	75	100%

②年齢

（単位：人）

	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区	不明	全区	比率
20歳代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
30歳代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
40歳代	1	0	2	0	0	1	0	0	4	5%
50歳代	2	1	1	5	1	1	0	0	11	15%
60歳代	2	4	7	4	11	3	5	1	37	49%
70歳以上	1	6	3	1	2	4	3	0	20	27%
不明	2	0	0	0	0	0	0	1	3	4%
計	8	11	13	10	14	9	8	2	75	100%



設問1 「浜松市の財政について」(財政課)

(単位:人)

		中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区	不明	全区
評価点数		3.88	3.91	3.39	3.30	3.00	3.63	3.57	4.50	3.51
内訳	評価5	1	2	2	1	0	1	2	1	10
	評価4	5	6	4	3	3	3	1	1	26
	評価3	2	3	4	4	9	4	3	0	29
	評価2	0	0	3	2	1	0	1	0	7
	評価1	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	無回答	0	0	0	0	0	1	1	0	2
参考(H28値)		3.73	4.00	4.07	4.00	3.39	3.75	3.00	4.25	3.74

※ 区名は区協議会名を示す。「全区」に区不明分を含む。以下設問同様。

設問2 「ワークショップの総合評価」

(単位:人)

		中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区	不明	全区
評価点数		3.88	4.36	3.92	3.80	3.71	4.11	4.25	3.50	3.97
内訳	評価5	2	5	4	0	3	2	3	1	20
	評価4	3	5	4	8	6	6	4	0	36
	評価3	3	1	5	2	4	1	1	0	17
	評価2	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	評価1	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0

設問3 「ワークショップのテーマについて」

(単位:人)

		中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区	不明	全区
評価点数		3.88	4.18	3.39	3.90	3.64	3.89	4.38	3.50	3.84
内訳	評価5	3	4	1	0	1	1	4	1	15
	評価4	1	5	4	9	7	6	3	0	35
	評価3	4	2	7	1	6	2	1	0	23
	評価2	0	0	1	0	0	0	0	1	2
	評価1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0

設問4 「ワークショップの時間配分について」

(単位：人)

		中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区	不明	全区
評価点数		3.75	4.09	3.54	3.40	3.64	3.56	4.00	3.50	3.69
内訳	評価5	1	3	2	0	2	2	3	1	14
	評価4	4	6	4	5	8	3	3	0	33
	評価3	3	2	6	4	1	2	1	0	19
	評価2	0	0	1	1	3	2	1	1	9
	評価1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0

設問5 「ワークショップのグループ編成について」

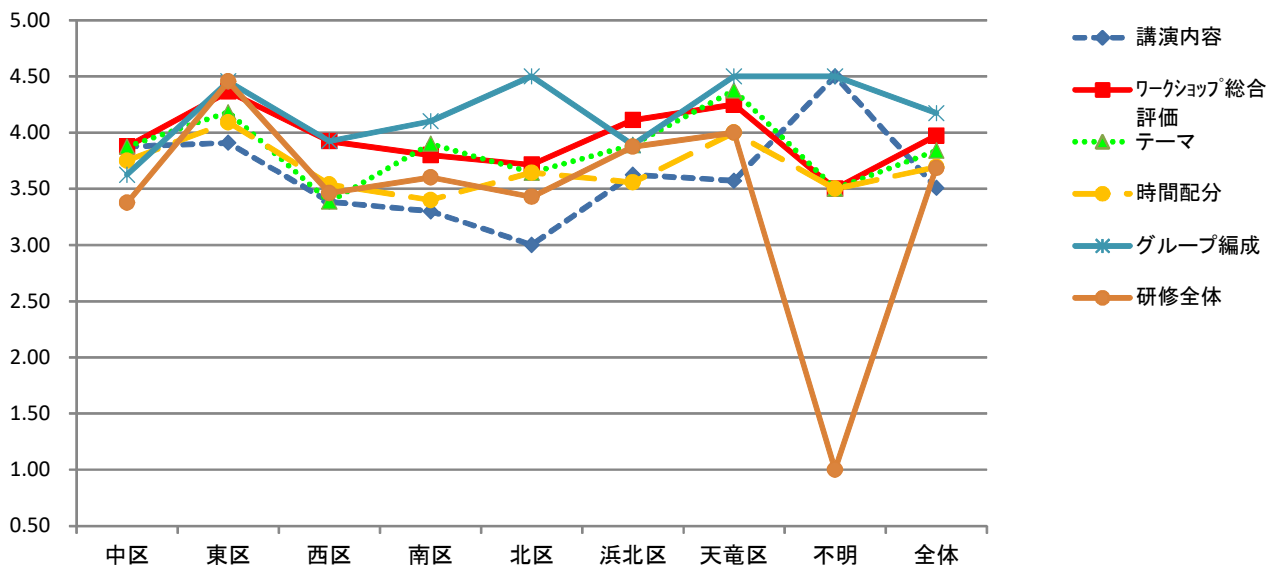
(単位：人)

		中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区	不明	全区
評価点数		3.63	4.46	3.92	4.10	4.50	3.89	4.50	4.50	4.17
内訳	評価5	2	6	5	2	7	2	4	1	29
	評価4	2	4	3	7	7	4	4	1	32
	評価3	3	1	4	1	0	3	0	0	12
	評価2	1	0	1	0	0	0	0	0	2
	評価1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0

設問6 「研修全体を通して（スケジュール、開催会場等）」

(単位：人)

		中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区	不明	全区
評価点数		3.38	4.46	3.46	3.60	3.43	3.88	4.00	1.00	3.69
内訳	評価5	1	6	2	0	1	1	3	0	14
	評価4	2	4	4	7	6	5	2	0	30
	評価3	4	1	5	2	6	2	3	0	23
	評価2	1	0	2	1	0	0	0	0	4
	評価1	0	0	0	0	1	0	0	1	2
	無回答	0	0	0	0	0	1	0	1	2
参考(H28値)		3.91	3.27	3.86	3.71	3.35	3.42	3.75	4.00	3.62



【自由回答の主な意見】

設問1

「浜松市の財政について」

《良かった点》

- 市の財政全般について概略を理解できた。
- 浜松市の財政についてポイントがわかりました。
- 副市長さんの話が参考になりました。
- 予算編成の基本的な考え方が分かった。
- 読み解くにはなかなか時間がかかる内容ですが、ざっくりと全体像は見えました。

《悪かった点》

- 予算の仕組みが分かっていないのであまり参考にならなかった。
- もう少し詳しく説明してほしい。
- 時間が短くて、もう少し深く知りたかったです。
- 時間的に短かったため、先にポイントと資料を事前に渡していたださっていたら、もっと内容を深めて質問もできる状況になっていたのではないかと思います。
- 全体的な予算はつかめたが、具体的ではないので理解できない点が多かった。

《その他》

- プロジェクターを使うとよかった。
- 3つのまちづくりの予算の振り分けについては、どの様に(この様に)予算分けをしたよってという関連づけが少し欠けていたように見えた。
- 浜松市の財政についてよく判りました。財政が苦しいと思われれます。多くの所に助成をしていますが、本当に適正か否かよく検証することが大事では!!
- いくら事業にお金をかけているかも大切だが、浜松がどこに向かって進んでいるかということも併せて説明してほしい。
- 区協議会委員として、何をどこまで理解しておく必要があるかの説明があるともう少し意識して聞けると思いました。

「ワークショップについて」

《良かった点》

- 各区地区の声が聞けてよかった。発表会がよかった。
- 事前に考えてきたことで、時間短縮になり良かったです。
- まわりの区から見た自分たちの区の特徴が参考になった。目指すところもはっきりした。
- 地域によってテーマの違いがあり参考になった。
- 区の自慢を改めて考える機会になりました。

《悪かった点》

- テーマについて②は難しい。委員に何を期待しているのか理解できない。
- 時間が短い。テーマを絞った方が良く思う。
- もう少し時間があつた方が良く思う。
- 各グループが近すぎて、グループ内の話し合いに集中するのが大変だった。
- 意見交換、情報交換までに至らなかったのは残念。もう少し深掘りできるようなワークショップだとよいと思いました。

《その他》

- 他地区の人の意見を聞くことができ、交流し、これから市全体のテーマにも協力していけると思う。
- 他の区の良い所をあらためて知る。このようなテーマは委員について学んで意識をもって臨むべきだったかなと思った。
- 協議会が具体的に何を目指していくか？がぼけている。今後に於いてもこのワークショップは続けてほしい。
- 他地区とバランスよくグループ分けしてくれた事で、コミュニケーションが取れた。自由討議時間がほしい。
- 自分自身の勉強不足を感じました。

設問7 「研修全体を通して（スケジュール、開催会場等）」

《良かった点》

- 浜北はみんなが来やすくてよいと思いました。（車がおける）
- お互いのことを知る良い機会になった。他の区の人たちとの意見交換も大切だと感じた。
- 一人一人の声（意見）が活発に出て、方法として良かった
- 他委員との交流の場が出来て良いと思いました。
- 合理的にスケジュールが設定され大変良かったと思いました。会場も駐車場が十分あり助かりました。

《悪かった点》

- 市が広いので仕方ないですが、会場が遠かった。
- グループ討議で隣が近すぎて声が聞こえない。
- ワークショップ会場は分かれた（別室）方が良いと思う。
- ワークショップについて、時間が慌ただしかったと思います。もう少し時間がほしかったと思います。
- 他区の協議会の様子が分かった。大会議室に多くのグループが入って、声が響いて聞きにくかった。

《その他》

- 7月は仕事上忙しいので（盆月）6月がよい。
- 予算の説明を少なくして、今話題になっている事業（区再編・野球場・火葬場等）の進み具合の説明をしてほしい。
- 全区の協議委員が集まっているので、各区での取り組み内容、問題点などの意見交換する時間があると良い。
- 他区のことを知らないなと思いました。交流することは大切だと思います。
- 研修開始時に、今回の研修の目的と受講後どうなってほしいかの説明が必要だと思います。名札がなかったので次回は用意してほしい。

設問8 「研修会で希望するテーマ・内容」

- 今回、他の区について自分がいかに知らなかったのかがわかったので、それぞれの区について知りたい。
- 各区委員同士での意見交換会。
- 各区の地域課題を取り上げ、それに向けてどんな活動をしているか。
- 交通事故撲滅、防災について。
- 区の協議会が市民協働の要として機能するにはどうしたらよいかを考える研修。

設問9 「区協議会について感じていること」

《良かった点》

- 自分の意見を言うことができ良いと思います。
- 協議会の委員として、自覚を再度確認する場となりよかったです。
- 7区の協議会それぞれの特長があり、いい話が聞けた。
- 後の発表での場で、協議会委員みなさんのご意見を聞くことができました。

《悪かった点》

- 協議委員の意見が、市政にどのように反映されているのか全く示されていない。
- 区に特化しているテーマが少ない。地域力向上と協働センターの問題解決のみ。
- 一方通行。協議の場にしてほしい。
- 報告が中心になりがち。意見の発表者が偏りがち。
- 各委員からもたくさんの意見が出て、会長・副会長が議事を円滑に進行していただき素晴らしいと思います。一点だけ気になるのは、当日配付など、資料にゆっくり目を通してから臨めないことが多いように思います。

《その他》

- 委員の中に子育て中の方も入れるとよいのでは。みなさんベテランの方が多いのはよいのですが、そればかりでは…
- 区協議会でも、一度は今日のような参加型の意見交換ができたらいいと思いました。女性が少ない。
- 行政の報告書について判りにくいこと(説明について)が多い。もう少し具体的に説明等をしてほしい。
- 協議会に期待できるものの明確化要(現状はあいまいな形)。市制、議会にどう反映できているのか疑問。
- 委員の年齢層が高く、これからまちづくりを担う若い人や子育て世代が委員にほとんどいないため、委員の選出の在り方を検討した方がよいと思います。意見が出やすい机の配置、ファシリテーションが必要かと思えます。

平成 29 年度 区協議会委員研修会アンケート

本日は、研修会へのご参加ありがとうございました。
今後の参考とさせていただきますので、以下のアンケートにご協力をお願いいたします。

1 本日の研修についてお聞かせください。(点数に○印をつけてください。)

○「浜松市の財政について」

【内 容】 参考になった ← 5 4 3 2 1 → 参考にならなかった

参考になった点、参考にならなかった点または印象に残ったことについて

[]

○「ワークショップ」

【総合評価】 参考になった ← 5 4 3 2 1 → 参考にならなかった

【テ マ】 適当だった ← 5 4 3 2 1 → 適当でなかった

【時間配分】 適当だった ← 5 4 3 2 1 → 適当でなかった

【グループ編成】 適当だった ← 5 4 3 2 1 → 適当でなかった

参考になった点、参考にならなかった点または印象に残ったことについて

[]

○研修全体を通して(スケジュール、開催会場等)

よかった ← 5 4 3 2 1 → よくなかった

良かった点・悪かった点について

[]

2 今後の研修会について、どのようなテーマ・内容を希望されますか。

[]

3 その他、区協議会について感じていることがありましたらご記入ください。

[]

4 あなた自身についてお教えてください。

性別	男・女	年齢	20歳代・30歳代・40歳代・50歳代・60歳代・70歳以上
所属	区協議会(中・東・西・南・北・浜北・天竜) 市職員		

～ご協力ありがとうございました～

地域の魅力、課題再認識

市内7区 協議会委員 浜松市が初の研修会

浜松市は5日、市内7区で開いた。市職員の進行で、7区の協議会委員の研修会が約100人が出席した。約100人が出席した。約100人が出席した。約100人が出席した。



地域の魅力を紹介し合う委員ら
＝浜松市浜北区の浜北文化センター

浜松市は5日、市内7区で開いた。市職員の進行で、7区の協議会委員の研修会が約100人が出席した。約100人が出席した。約100人が出席した。約100人が出席した。

音楽イベントが盛んな点を挙げた。女性武将井伊直虎が主人公の大河ドラマの舞台となった北区の委員は「歴史が自慢」とした。他の区については、西区の委員が天竜区の豊富な自然に引かれていることなどの意見が挙がった。

協議会委員のワークショップは、互いの区の特徴や課題を再認識してもらおうと、市が初めて行った。



魅力や課題 意見交換

浜北区で 7区の協議会委員 研修会

浜松市内の7区協議会の魅力や課題について、委員の研修会が5日、同市浜北区の市浜北文化センターで開かれ、委員らは自分の区

の魅力を語り、互いの区の特徴や課題を再認識してもらおうと、市が初めて行った。

各々の魅力について意見交換する委員ら
＝浜松市浜北区で

「俳句の里づくりが盛ん」と区の特徴を紹介。地域のために自分ができることについて

を挙げた。市の担当職員は「区に対し何ができるかを考えるきっかけになれば」と期待していた。(宮沢輝明)

意見交換票

テーマ②

「協働センターについて」

平成 29 年度 第 1 回区協議会会長会議 意見交換票

<p>テーマ</p>	<p>協働センターについて</p>
<p>区</p>	<p>中区</p>
<p>内 容</p>	<p>1 窓口サービス業務を担当する職員の各種手続への対応が何時お願いしても親切で、しかもスピーディーで助かっている。身近な施設で受ける行政サービスこそ、人を幸せな気持ちにさせてくれる。区民生活課との関係が良好な表れであり、高く評価したい。</p> <p>2 協働センター職員の地域力向上事業「第2種協働センターを核とした課題解決事業」の説明にあたって、事業の概要・内容共に分かりにくかったという声が委員から聞かれた。地域からの要望が高く、また地域を活性化させる事業だけに、説明の方法など工夫し、地域づくりのサポーター役となっていただきたい。</p> <p>3 協働センターだよりがマンネリにならないように、講座の紹介また紙面の割り付けを工夫し、使用率アップに繋げていただきたい。</p> <p>4 担当される職員(非常勤の方も含め)には、何よりも“コミュニケーション能力“を高めていただきたい。そのための研修の機会等、幅広くまた積極的に実施するよう引き続きお願いしたい。</p>

平成 29 年度 第 1 回区協議会会長会議 意見交換票

テーマ	協働センターについて
区	東区
内容	<ul style="list-style-type: none">・現在の東区内協働センターは、地域ごとの特色もあり、窓口としての機能や生涯学習講座の開催や貸館業務など、とても満足している。・普段は、自治会として利用することが多いが、利用者として特に問題ない。・地域にとって、無くてはならない施設であると思うので、施設自体が老朽化してきており、心配であるが、無くすことなく存続してほしい。・区の再編後は、協働センターの役割が一層重要となってくると思うので、現在の機能が損なわれることなく存続してほしい。

平成 29 年度 第 1 回区協議会会長会議 意見交換票

テーマ	協働センターについて
区	西区
内容	<p>【地域づくり】</p> <p>西区には自治会連合会を構成する 8 地区に協働センターが設置されています。</p> <p>地区の活動団体や、その活動内容にはそれぞれの特色があり、職員の方々は自治会連合会の会議に参加していただくなど、地域の声に耳をかたむけていく姿勢を感じています。</p> <p>私の地元の庄内地区でも、協働センター職員が地域団体の事業に積極的に参加してくれており、地域づくりをサポートしてくれています。</p> <p>今後も、地域と協働センターが連携を取りながらより良い地域づくりできたらとよいと考えます。</p> <p>【生涯学習】</p> <p>生涯学習はとても重要であると思います。年齢に関係なく学びのきっかけ提供する協働センターの存在は大きいと思います。</p> <p>【窓口サービス業務】</p> <p>協働センターでできる手続きがは多く、住民はとても身近に感じていると思います。今後も協働センターの重要性は高まっていくと思います。市役所や区役所へ出向かなくても行える手続きが増えることが望ましいのですが、駐車場の整備や適切な職員配置など課題も出てくると思います。住民が利用しやすい協働センターを目指していただきたいと思います。</p>

平成 29 年度 第 1 回区協議会会長会議 意見交換票

テーマ	協働センターについて
区	南区
内 容	<p>協議会委員数名に意見を聞いた結果、以下の意見が出された。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;"> <p>協議会委員からの意見</p> </div> <p>①「地域づくり」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域力向上事業をはじめ区のソフト事業について、コミュニティ担当者が区役所との橋渡しや相談役の役割を担うようになったが、成果を検証するにはもう少し時間が必要と考える。 <p>②「生涯学習」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 協働センターで行われる生涯学習事業は、学習というよりも趣味のような事業が多いため、郷土史を学ぶ等、他ではなかなか学べない事業の充実を期待したい。 ・ 本来、市役所の管轄になると思われるが、他区で有効な自主事業の情報を共有し、より良い自主事業を検討できるともっと良くなると思う。 <p>③「窓口サービス業務」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 待ち時間について、電話、ファクス、メールを駆使して、区の窓口と変わらないスピードで対応できている。 <p>④ 期待する機能や要望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 担当課の縦割りではなく、協働センターにおいて相談できる体制の方が、区民にとってはありがたい。ただ、現状の体制においては健闘していると思う。 ・ センター長に負担が大きくなりすぎないように、さらなる区役所のバックアップを期待したい。 <hr style="border: 0.5px dashed black; margin-top: 20px;"/> <p>協働センターは、住民に最も身近な行政機関であるため、役割だけでなく組織や人工の体制強化が求められる。</p>

平成 29 年度 第 1 回区協議会会長会議 意見交換票

テーマ	協働センターについて
区	北 区
内 容	<p>1 協働センターの機能について</p> <p>一般的に必要な届出・証明等の手続きができ、公民館活動の流れを受けた各種の講座が行われていることや、付帯する貸館施設や市民協働スペースが市民団体の活動拠点となっていることから、協働センターは住民の最も身近で、地域の核となるべき施設といえる。</p> <p>2 北区の現状</p> <p>旧引佐郡と浜松市の一部からなる北区の課題の一つとして「区の一体感の醸成」が挙げられるが、区制後 10 年を経過したことや、区大事業の取り組み等により状況は改善されつつある。</p> <p>ただし、北区協議会では、同じ課題等に対して地域ごとに意見の相違が見受けられることがある。これは、それぞれの地域が培ってきた文化や風土の違いによるものと思われる。</p> <p>3 地域づくりに期待すること</p> <p>協働センターには、地域ごとに異なる文化や風土を尊重したうえで、規模や活動頻度が異なる地域団体の実情に応じた活動支援を期待する。</p> <p>また、地域づくりのサポート役であるコミュニティ担当職員の業務は、関係する地域や団体等の広さから難度が高いと思われるため、市として必要な知識や技量を得るための育成にも配慮されたい。</p>

平成 29 年度 第 1 回区協議会会長会議 意見交換票

<p>テーマ</p>	<p>協働センターについて</p>
<p>区</p>	<p>浜北区</p>
<p>内 容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 協働センターの職員はコミュニティ担当職員を兼務し、地域のコーディネータ役と位置付けられているが、実際はサービスセンター業務等が優先され、十分に機能が果たされていない。コミュニティ担当職員のあり方については今後も検討が必要ではないか。 ・ 浜北区では、中瀬・鹿玉で取り扱える業務でも北浜南部と浜名で取り扱えない現状がある。区役所との距離を考慮しての事と思われるが、市民の利便性向上のためには、必要な人員を配置の上、取扱業務を増やすことを検討してもよいのではないか。 ・ 市民の生涯学習の場として位置付けられているが、一部の協働センターでは老朽化が進んでいる。設備が故障すると、講座の運営等にも支障を来たすため、施設の点検や修繕は滞りなく行ってほしい。

平成 29 年度 第 1 回区協議会会長会議 意見交換票

<p>テーマ</p>	<p>協働センターについて</p>
<p>区</p>	<p>天竜区協議会</p>
<p>内 容</p>	<p>人口 3 万人を割った天竜区は、四季折々の豊かな自然が魅力であります。しかし、自然が豊かであるということは、そこで生活するには不便だということです。合併して 1 2 年が経過し、小中学校の統合や福祉タクシーの廃止など、従前の地域づくりのしくみや制度が崩れかけているように感じられてなりません。そうした中で、天竜区の協働センターには地域づくりの拠点施設として大いに期待を寄せています。限られた職員数ではありますが、これからも地域住民に一番身近な行政機関として、きめ細やかな行政サービスをお願いしたいものです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の魅力を内外にもっともっと情報発信すること。 ・ 現有職員数を確保しつつ地域事情に明るい地元職員の配置。 ・ 高齢化の進んでいる地域住民への親切丁寧な対応。 ・ 災害時における職員応援体制の確立。 <p>天竜区には、数多くの歴史や史跡、魅力あるイベント、伝統芸能文化があります。また、地域密着型の N P O を立ち上げ地域力を向上していこうとする新たな動きもあります。</p> <p>住民自治の確立を目指して、行政と地域関係団体が連携していくことが重要であると考えます。</p>

身近で便利！ 協働センター

皆さんは、協働センターを利用したことがありますか？

市内には、第1種協働センター※・第2種協働センター※合わせて42施設があり、さまざまな行政サービスを市役所・区役所まで出向くことなく、身近な協働センターで受けることができます。

また協働センターの一部の機能を持つ、ふれあいセンター※や、窓口サービスに特化した市民サービスセンターでも行政サービスを受けることができます。

協働センターを
もっと利用してみませんか。

協働センターの3つの機能

①窓口サービス (詳しくはP.4～5へ)

戸籍、住民票の届出・証明書の発行をはじめ、印鑑登録、税証明、福祉、国民年金、国民健康保険などのうち、一般的な手続きを協働センターで済ませることができます。
※居住地域に関係なく、お近くの協働センターを利用できます。



②生涯学習

地域の皆さんが「楽しみ」や「生きがい」を見つけるきっかけとなる講座の開催や、サークル活動のための部屋の貸し出しを行っています。



③地域づくり(詳しくはP.6へ)

協働センターのコミュニティ担当職員*が、皆さんの地域活動をサポートします。
協働センターには、地域の皆さんが自由に利用できる「市民協働スペース」も設けています。ちょっとした打ち合わせなどにご利用ください。



★コミュニティ担当職員 =通称「コミ担」

「コミ担」とは、市民の皆さんに身近な窓口として、地域の声や意見を伺い、地域づくりや市民活動をサポートする職員のことなのじゃ！

※第1種協働センター (7施設)

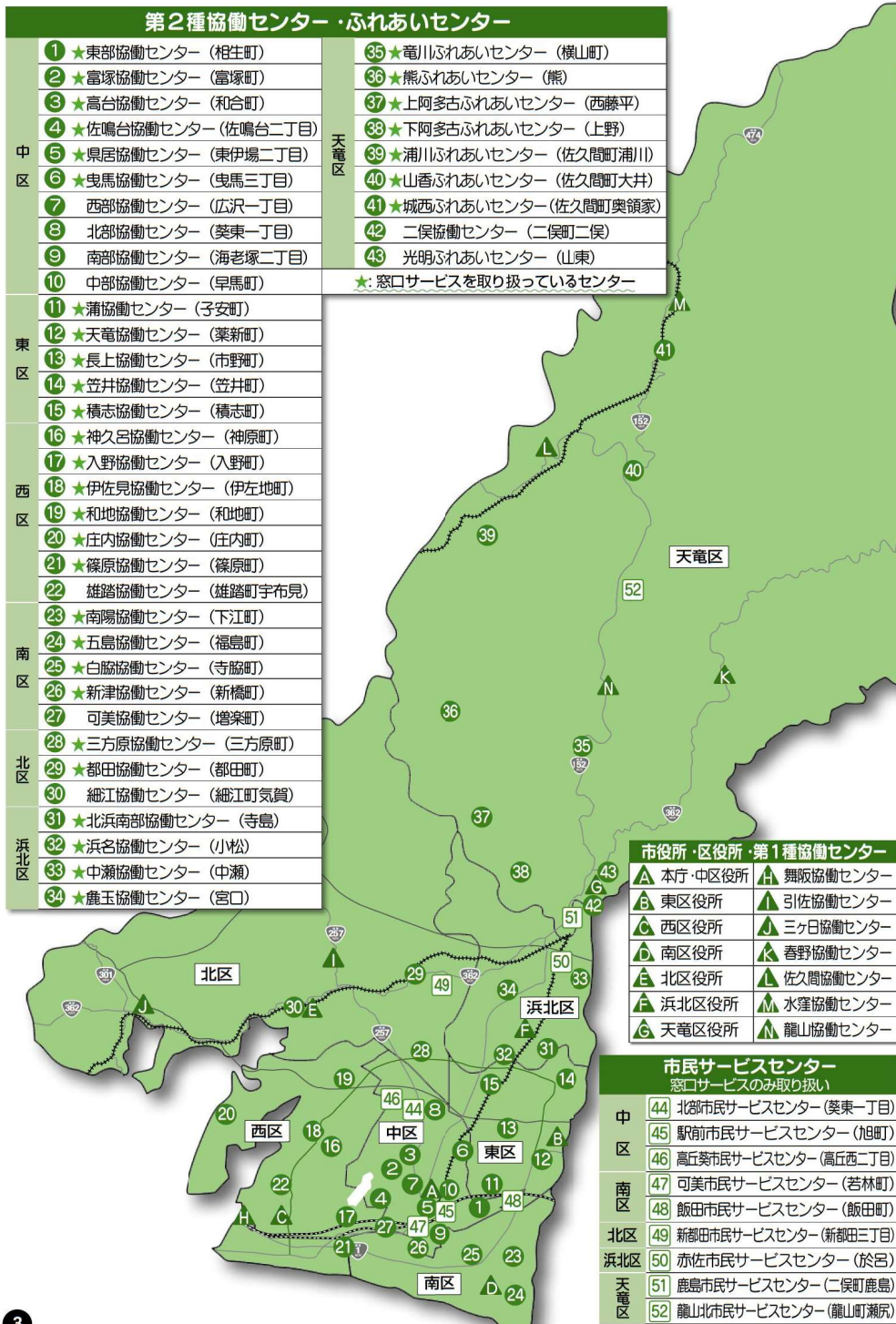
- 区役所となっていない合併前の旧町村役場
- 防災機能をはじめ、第2種協働センターより幅広いサービスを行っています

※第2種協働センター (35施設)

- 旧公民館(天竜区でふれあいセンターとなった施設を除く)、雄踏協働センター、細江協働センター
- 窓口サービス、生涯学習、地域づくりを行っています

※ふれあいセンター (8施設)

- 天竜区の旧二俣公民館を除く旧公民館
- 生涯学習と窓口サービスを行っています(光明ふれあいセンターでは、窓口サービスは行っていません)





このような手続きが協働センターでできます！

項目	内容	協働センター(第1種)		協働センター(第2種)		ふれあいセンター		市民サービスセンター		
		舞阪	引佐・三ヶ日 春野・佐久間・水窪・龍山	右記以外	北浜南部浜名	右記以外	赤佐・龍山	赤佐・龍山	赤佐・龍山	
住民票・戸籍 印鑑証明など	住民票	○	○	○	○	○	○	○	○	
	戸籍	住民票の写しの交付請求	○	○	○	○	○	○	○	○
		通知カード再交付申請	○	○	○	○	○	○	○	○
		出生・婚姻・死亡の届出	○	○	○	○	○	○	○	○
		戸籍全部(個人)事項証明書(戸籍謄抄本)の交付申請	○	○	○	○	○	○	○	○
		除籍全部(個人)事項証明書(除籍謄抄本)の交付申請	○	○	○	○	○	○	○	○
身分証明書の交付申請	○	○	○	○	○	○	○	○		
印鑑証明	○	○	○	○	○	○	○	○		
印鑑登録の申請	○	○	○	○	○	○	○	○		
印鑑登録証明書の交付申請	○	○	○	○	○	○	○	○		
埋火葬許可	○	○	○	○	○	○	○	○		
国民健康保険、 後期高齢者医療、 国民年金、 介護保険	国民健康保険	○	○	○	○	○	○	○	○	
	後期高齢者医療	国民健康保険の加入・脱退の届出	○	○	○	○	○	○	○	○
		被保険者証の再交付申請	○	○	○	○	○	○	○	○
		治療用器具の療養費支給申請	○	○	○	○	○	○	○	○
		高額療養費支給申請	○	○	○	○	○	○	○	○
	国民年金	出産育児一時金の支給申請	○	○	○	○	○	○	○	○
		葬祭費の支給申請	○	○	○	○	○	○	○	○
		治療用器具の療養費支給申請	○	○	○	○	○	○	○	○
		後期高齢者医療葬祭費支給申請	○	○	○	○	○	○	○	○
	介護保険	被保険者証の再交付申請	○	○	○	○	○	○	○	○
		国民年金の資格の取得・喪失などの届出	○	○	○	○	○	○	○	○
		年金手帳の再交付申請	○	○	○	○	○	○	○	○
要介護認定・要支援認定申請		○	○	○	○	○	○	○	○	
福祉	高額介護サービス費の支給申請	○	○	○	○	○	○	○	○	
	介護保険料の納付手続き	○	○	○	○	○	○	○	○	
	児童福祉	○	○	○	○	○	○	○	○	
	障害福祉	児童手当の申請	○	○	○	○	○	○	○	○
		乳幼児医療費受給者証交付申請	○	○	○	○	○	○	○	○
		小・中学生医療費受給者証交付申請	○	○	○	○	○	○	○	○
		母子家庭等医療費助成金支給申請	○	○	○	○	○	○	○	○
		重度心身障害者医療費の助成申請	○	○	○	○	○	○	○	○
		自立支援医療費の助成申請	○	○	○	○	○	○	○	○
		精神障害者入院医療費の助成申請	○	○	○	○	○	○	○	○
		身体障害者手帳の交付申請	○	○	○	○	○	○	○	○
	療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付申請	○	○	○	○	○	○	○	○	
特別障害者手当の申請	○	○	○	○	○	○	○	○		
特別児童扶養手当の申請	○	○	○	○	○	○	○	○		
ハス・タクシ-券の交付申請(龍山北市民サービスセンター除く)	○	○	○	○	○	○	○	○		
補装具の交付・修理の申請	○	○	○	○	○	○	○	○		
日常生活用具費助成申請(引佐、三ヶ日はストマの申請のみ)	○	○	○	○	○	○	○	○		
高齢者の総合相談	○	○	○	○	○	○	○	○		
緊急通報システム利用申請	○	○	○	○	○	○	○	○		
市の税金	税証明	○	○	○	○	○	○	○	○	
	原動機付自転車・小型特殊自動車	○	○	○	○	○	○	○	○	
	土地台帳等の閲覧	○	○	○	○	○	○	○	○	
ごみ・リサイクル	ごみの相談	○	○	○	○	○	○	○	○	
	連絡ごみ	○	○	○	○	○	○	○	○	
資源物回収協力金	資源物集積回収協力金の交付申請	○	○	○	○	○	○	○		

協働センターでできる窓口サービスを紹介します。
※西部、北部、南部、中部、雄踏、可美、細江、二俣協働センター、光明ふれあいセンターでは、窓口サービスを行っていません。

○…内容の全部を取り扱う ◎…対象の地域のみ取り扱う

項目	内容	協働センター(第1種)		協働センター(第2種)		ふれあいセンター		市民サービスセンター	
		舞阪	引佐・三ヶ日 春野・佐久間・水窪・龍山	右記以外	北浜南部浜名	右記以外	赤佐・龍山	赤佐・龍山	赤佐・龍山
防災	防災	◎	◎	◎					
教育	転入学	○	○	○	○	○	○	○	○
	合併等に伴う証明書	○	○	○	○	○	○	○	○
その他	住居表示	○	○	○	○	○	○	○	○
	県・市収入証紙	○	○	○	○	○	○	○	○
	自治会への補助			◎					
	地縁団体			◎					
	仮ナンバー		○	○					
	市有財産貸付	◎	◎	◎					
	地域力向上事業	○	○	○	○	○			
	地域力向上事業			◎					

※窓口サービスは、申請内容によっては取り扱いできない場合があります。

- ◎: コンビニで証明書の交付を受けることが可能な申請
(利用には、利用者証明用電子証明書が搭載されたマイナンバーカード、利用者証明用電子証明書の暗証番号が必要)
* 税証明については、個人の市・県民税の所得証明書(児童手当用・児童扶養手当用を除く)と課税証明書のみ

利用者の声



会社勤めで、昼休みを利用して申請に来ました。同じ職場の人たちも昼休みなどに窓口サービスをよく利用していますよ。
「印鑑登録の申請」で来所した女性

大学の夏季休暇で帰省中で、今日は就職に必要な住民票の写しを取りに来ました。協働センターは、親が利用しているのを見て自分も利用するようになりました。家から近いので便利です。
「住民票の写しの交付請求」で来所した大学生



普段からスポーツをするため、協働センターの体育館を借りています。協働センターは、茶室や調理室などいろいろな目的で利用でき、料金も安くお得だと思います。
「協働センターの施設利用」で来所した男性

協働センターが近くにあるので利用します。用事が済んだら、図書コーナーで子供に本を読んであげたりするんです。また、利用したいサービスをどこで受けられるか、まずはインターネットで調べるようにしています。
「住民票の写しの交付請求」で来所した女性とお子さん

こんなサービスもあるの!?

窓口サービス以外にも次のようなサービスなどを行っています。

体育館や講座室
など施設の利用
貸し出し

講座*

市民同好会の
会員募集

図書の
貸し出し




*協働センターが主催するもののほか、講座を開きたいという相談にも応じます。

協働センターには「コミュニティ担当職員」がいます。

～あなたのまちのコミ担に聞きました～

曳馬協働センター(中区曳馬三丁目)

曳馬地区ならではの取り組みは？

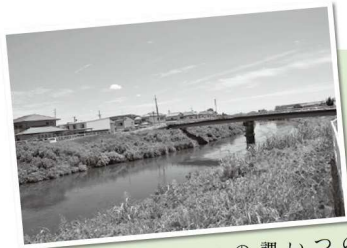
北区の中山間地域との交流事業があります。子供が自然と触れ合う機会を持たせたいという声から始まったこの事業は、北区の引佐北部小学校の子供たちと曳馬地区の子供たちが交流したり、自然と触れ合う体験をしたりするものです。昨年参加した子供の保護者たちからとても良い刺激を受けたなどの言葉をもらいました。

今年度の取り組みは？

今年は、北区との交流をさらに進めるため親子で参加する米づくり体験事業を実施しています。自然の中で米づくりのプロに教えてもらいながら、家族のつながり、地域のつながりなどを強めることができると考えています。また、今年は北区の皆さんと曳馬協働センターまわりに参加してもらい、継続的な相互交流活動として進めていきます。

地域への想いを一言！

「コミ担」として5年後、10年後に地域の状況を考えてながら、毎月の自治会連合会などに参加して「地域内の交流を増やしたい」「幅広い世代の交流の場がほしい」といった地域住民の声を傾け、かつ実際に地域を歩いて地域の魅力や課題を発見しているものは何か、これからどうありたいか「この地域のためになにができるか」を皆さんと一緒に考え、取り組んでいきたいと思



曳馬協働センター
平成27～28年度コミ担
山下 隆治

曳馬協働センター
平成29年度コミ担
菅野 竜平

佐久間協働センター(天竜区佐久間町中部)



これまでの取り組みは？

春野では、地域の声をきつかけ「放課後児童会」や「緑側カフェ」エ、遊休農地の解消を目指し静岡文化芸術大学の学生と連携した「春野耕作隊」などの立ち上げを支援して関係団体の皆さんと二人三脚で取り組みました。成果が実感できた時には、地域の皆さんと喜びを共有できて良かったです。

佐久間ほんな地域？

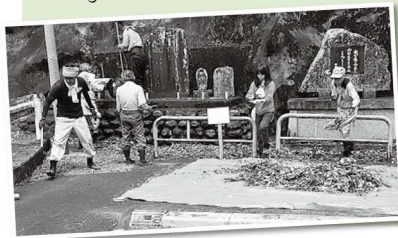
今年度から佐久間に赴任したばかりの私を気にかけてくれる人が多く、あたたかい雰囲気の良い地域です。地域をより良くしたいと思っている人が多く、これからの地域づくりを担う若い人材が地域外に転出してしまおうといった、厳しい現実も抱えています。こうした現状を受け地域の皆さんと一緒に佐久間に新しい風を吹かせたいという思いで活動しています。

コミ担として心掛けていることは？

住んでいる人の思いはさまざまです。何気ない会話を通して皆さんの思いを引き出したり、団体の活動に積極的に参加して信頼関係を築いたりしながら、どんな地域づくりをしようかと考えています。べきかを常に意識するようにしています。

地域への想いを一言！

「コミ担」としてできることは「地域の皆さんが地域のために自ら動くきっかけづくり」です。地域づくりは、結果が早く出ることも重要かもしれませんが、これまでの過程も非常に重要です。今の取り組みがいつか実を結び、佐久間に住んで良かったと地域の皆さんに思ってもらえる地域づくりをしたいと考えています。佐久間に訪れたことのない市民の皆さんにも、ぜひ一度足を運んでもらえたらと思います。



佐久間協働センター
平成29年度コミ担
(平成26～28年度は
春野協働センター=コミ担)
藤原 久田